

まき(9、10月)

約30cm

すき込み(3,4月)

畑にナス、トマト、サトイモなどを育て、ソルガムは周囲に植える

緑肥と対抗植物 栽培環境を改善



【緑肥】 有機物が微生物に分解され、腐植が作られ、団粒構造の形成、性の向上で野菜の根の環境が改善します。マメ科は根粒菌により空気窒素を固定し、土壌が肥沃となりま

秋まきでは、裸地になるのを防めにもイネ科のエン麦やライ麦き、また、マメ科のクローバー、ヘアベッチ(図1)では、翌年花を楽し後にすき込みます。春まきではイネ科のソルガム(図2)、ギニアグラスなどを栽培し、夏に茎葉をくわや耕運機で2、3回すき込みます。その後、キャベツやブロッコリーなどが植え付けできます。イネ科作物は草丈が伸び、土づくり効果以外にも害虫の飛来阻止(隔離)、防風などの障壁効果も期待できます。

【対抗植物】 ネコブセンチュウは、根にこぶを作って養水分の吸収を妨げて生育を阻害します。このセンチュウは地温の高い夏〜秋に増殖し、ウリ科をはじめ多くの野菜

種まき期	科 名	品 目	主な品種※1	センチュウ抑制※2	雑草抑制	窒素固定	障壁	景観・美化
秋まき	イネ科	エン麦野生種	ハイオーツ、ニューオーツ	○				
		ライ麦	R-007、グリーン	○				
	マメ科	クローバー	くれない(グリムソングローバー)、フィア(白クローバー)			○		○
		ヘアリーベッチ	藤えもん、ナモイ		○	○		
春まき	イネ科	エン麦野生種	ハイオーツ、ニューオーツ	○				
		スーダングラス	パールスーダン、ねまへらそう	○			○	
		ソルガム(ソルゴー)	つちたろう、元氣ソルゴー	○			○	
		ギニアグラス	ナツカゼ、ソイルグリーン	○				
	マメ科	クロタラシア	コブトリソウ、ネマグリーン	○		○		
		ヘアリーベッチ	藤えもん、ナモイ		○	○		
		セสบアニア	田助		○	○		
	キク科	マリーゴールド	アフリカントール、グラントコントロール	○				○
		ヒマワリ	ハイブリッドサンフラワー、緑肥用ヒマワリ					○

※2 主な寄生性センチュウの抑制効果は、品種により異なる。

に被害を与えます。マリーゴールドやクロタラリアなどの対抗植物を春にまき、3カ月程度育てれば、センチュウの密度を下げるができます。ダイコンのキタネグサレセンチュウはマリーゴールドなどを作付けすることで被害を軽減できます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



2L (32個入)	L (36個入)	M (40個入)
4,500円	4,000円	3,500円

申込期間
10月11日(金)



伊吹ひらたねなし柿は、
農薬と化学肥料を通常の
5割以下にするとともに、
琵琶湖をはじめとする環
境にやさしい技術を用い、
滋賀県が環境こだわり農
産物として認証した「環
境こだわり農産物」です。

お問い合わせ先／特産振興課 ☎63-2108(平日8:30～17:00)